



今年2月に網野町浅茂川にピッツァとイタリアン惣菜の店「uRashiMa (ウラシマ)」をオープンしました。

高校を卒業して、空間デザイン系の専門学校で学んだ後、神戸で写真や絵の制作をしながらイタリアンレストランで働き始めたのがイタリア料理との出会いでした。「二足のわらじ」の生活に疑問を感じ、料理の世界を離れたこともありましたが、自分を振り返った時、一緒に働いていた料理人の先輩や仲間から本当に大きな影響を受けていたという事にあらためて気づき、料理の世界でやっていこうと決

こだわりのナポリピッツァで 夢が広がっています。



uRashiMa・オーナーシェフ
藤原 英雄 さん (39歳・網野町)



食材をトッピング。「京丹後だからできる贅沢な使い方です」と笑顔で話す。

心しました。

それから約15年間の修業を経て、自分の料理を自分が納得する形で提供したいと開業を決意し、京阪神を中心に店を構える場所を探し始めた時、ふと頭に浮かんだのが生まれ育った故郷でした。帰省中、イベント出店に声を掛けてくれた地域の人や生産者の人たちとの出会いが、ここで自分の店を構える決め手になりました。

丹後の魅力は、いい意味で洗練されておらず、昔からの日本の営みが残っているところ。そういういた作り物でない雰囲気やシチュエーションの中で獲れた魚介や野菜などの旬の食材を思い切り使えることが強みだと思います。素晴らしい食材をどう料理しようか考えるのが本当に楽しい。そして何よりも常連さ



ナポリピッツァの世界大会で準優勝した経歴の持ち主

んや地域の人たちに囲まれて、この地での開業が最良の選択であったと実感しています。

お店では、料理だけでなく、食べ方など本場イタリアの食文化も提案しています。そしていつかは、イタリアのアマルフィの海岸線に建つような雰囲気の良いレストランを開き、おいしい魚介料理を提供したいと考えています。

私にとって京丹後は、やりたいことが実現でき、さらに夢が広がっていく場所になっています。

生まれ育ったまちに恩返ししませんか。

【丹後人 club 部員 渡辺峰俊さん】



自分たちを育ててくれたまちに恩返しをしたい。「丹後人 club」は、そんな思いを持つ20～30代の若者を中心としたボランティア団体です。主な活動内容は海岸清掃や経ヶ岬の松の植樹、除雪の手伝いなど。若者同士の新たなつながりを作るため、部員同士や地域での交流事業も開催しています。入部を希望する方はフェイスブックからご連絡ください。

「子育て」と「自分磨き」両方楽しんで。

【TANGO 美女会 代表 堀井理佳さん】



私たちは毎月1回、子育てママを応援するイベントとして「TANGO 美女会」を開催しています。会場では、ネイルやエステ、マッサージ、アクセサリーづくりのワークショップなどを楽しむことができます。保育士もいるので子連れでも安心。開催情報はTANGO 美女会のフェイスブック、インスタグラムでお知らせしますのでぜひお越しください。出店者も募集中です！